

ごみょう 五明地区

人口:426人(高齢化率48.8%)
世帯数:225世帯

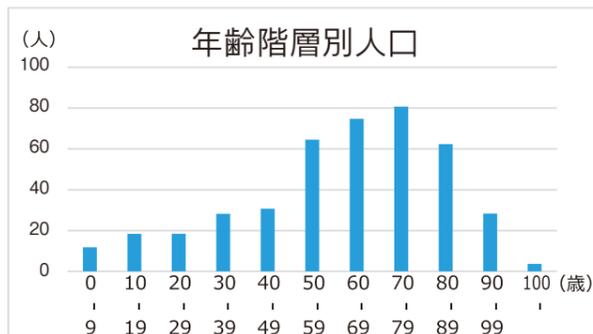


【地区の特色】

五明地区は、市内中心より北東に位置し、標高300mの中山間地域で自然に恵まれた地域である。花崗岩土壌と昼夜の温度差がある立地条件を生かし、古くからぶどう栽培に取り組んでいる。また、五明太鼓などの芸能文化の振興を盛んに行っている。地区内には源氏ボタルが自然発生する「五明川」が流れており、地域が一体となって「ふるさとの自然と文化の継承」に努めている。



五明小学校児童による五明太鼓と獅子舞



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	地区の弱み	地域が抱える福祉課題
<ul style="list-style-type: none"> 顔見知りが多く、どこの誰だか把握できる 個人でゴミ捨てや買い物の助け合いをしている 車で通勤・通学時間は混雑も無く20~30分で市内中心部へ行ける 自然が豊かで季節を肌で感じることができる 自主防災と連携し災害時の避難の仕組みを作っている まち協ができ、地域団体との連携が取れている 田植え稲刈りなど地域の子供たちとの交流 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢家庭や独居家庭が増えた 子どもが少ない 交通の便が悪く、通院、買い物が不便 イノシシ、シカ、サルによる作物被害 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化と少子化(児童減少で小学校の存続が心配) 交通の便が悪い 金融機関が遠い 車の往来しにくい狭い道や、豪雨のたびに崩落が起きる悪路がある 空き家、空き地も多く掃除が行き届いてない、活用できていない、危険 災害時の危険箇所が多い 在宅で生活し続けることが難しい 集落によって課題の深刻度合いが異なる

五明地区社会福祉協議会

人が好き 自然が好き 五明が大好き

構成団体	地区民協・区長会・まちづくり協議会・公民館
主な取り組み	活動内容
福祉弁当	75歳以上の高齢者を対象に、安否確認を込めた見守りも含め、4月にたけのこごはんを作り配布しています。
夏休み大清掃	小学生が気持ちよく二学期を迎えることができるよう、通学路および小学校周辺を地域の方で清掃しています。
シクラメン配布	毎年12月に五明苑の入所者と在宅の75歳以上の独居高齢者、90歳以上の高齢者世帯を訪問し、シクラメンをプレゼントしています。

お米作り体験学習

福祉学習事業の一環として、公民館、PTA、まちづくり協議会、民生委員・児童委員と連携し、田植えから稲刈り、もちつき、しめ縄作りまでの各種農作業を通して児童の教育と地域の幼稚園児から高齢者までの交流を支援しています。



<地区社協が目指すもの>

五明地区社協は、公民館をはじめとする地区内の団体と連携し、自主防災訓練、敬老会、さくらまつり、はたるまつり、盆踊り大会、地区運動会、しめ縄づくり、もちつき、ふる里まつりなどの地域行事と並行した社協活動の実施を基本方針としています。

今後の目標としては、五明地区まちづくり協議会との連携をさらに深め、日常生活の困りごとを地域住民同士で支えあっているよう地域福祉活動の強化を目指していくものとします。

地区の状況	地区民協	民生委員	主任児童委員	町内会・自治会・区長会等	高齢クラブ	子ども会	自主防災組織
	6名	2名	平成23年度	10団体	0クラブ	0団体	5組織

人間関係の希薄化が問題視される現在において、五明地区では互いの顔を知り助け合いのできる関係が維持されています。このような関係性があるからこそ、地域を守る自主防災訓練のほか、お祭りや運動会などの恒例化された地域行事が継続されているといえるでしょう。中心部への若い世代の流出は多くの地区が抱える課題ですが、地域の子供や小学生と田植えなどで交流を図っているほか、地域住民による小学校周辺の清掃活動などが精力的に行われています。これらの活動は子どもたちが地域の一員であり、地域の大人たちに支えられていると実感できる取り組みだといえるでしょう。人と人とのつながりという強みを生かして、様々な世代が地域での活動を支え楽しめる環境づくりが期待されています。



